

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

人類の活動に不可欠な資源や素材と高付加価値技術を社会に供給し続けることで、よりよい社会環境の構築に貢献し、人類社会の永続的発展に寄与する

連結経常利益
50億円以上

② 中長期の経営戦略

1. コークス事業の競争力強化

2024年竣工の2Aコークス炉、2006年稼働の1A炉を主力に安定操業を維持し、大規模修繕・コスト削減・販売施策の見直しで収益確保を推進

3. 脱炭素・カーボンニュートラル推進

エコプロセスによるCO2削減、北海道約4千2百ヘクタール森林によるCO2吸収、水素・アンモニア・太陽光発電事業検討で2050年カーボンニュートラルに挑戦

2. 非コークス事業の基盤強化

燃料転換対応商品の拡大、化工機事業の粉体処理ソリューション進化、海外販路拡大、産業機械事業との連携強化を実施

4. ESG経営への統合的取り組み

安全・環境・防災体制確立、人権尊重・ダイバーシティ対応、ステークホルダーコミュニケーション・コンプライアンス徹底でガバナンス向上

③ 対処すべき課題

① 安全・安定操業の回復

- ・2024年12月火災事故の反省に基づく安全最優先の体制構築
- ・コークス炉大規模修繕を含めた安定操業に向けた取り組み実施

② 経営環境の不確実性対応

- ・米国通商政策・為替・原料炭価格変動のリスク懸念に対する施策展開
- ・物価上昇による消費弱含みへの対応

③ 環境規制・地域共生の両立

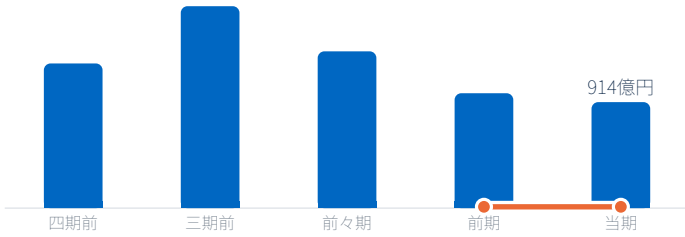
- ・環境対策工事实施による各種環境規制の遵守
- ・地域社会との共生実現

面接で使えるポイント

- ・2050年カーボンニュートラル目標に向けて、北海道の約4千2百ヘクタール森林の活用とCCUS技術の導入で脱炭素を推進する…
- ・2024年竣工の2Aコークス炉・2006年稼働の1A炉の活用により…
- ・連結経常利益50億円以上確保という明確な数値目標のもと、多様な事業ポートフォリオで安定的な利益構造を確立しようとしている

証券コード 3315

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
914億円営業利益率
0.7%財務健康度
8点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 42.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
607万円

石油・石炭製品内 9位/9社

平均年齢
40.4歳

石油・石炭製品内 9位/9社

平均勤続
18.2年

石油・石炭製品内 1位/9社

女性管理職
-（未開示）男性育休
62.5%

石油・石炭製品内 5位/5社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日本コークス工業(株)【3315】：決算情報

